

## 野口英世とその母

毎日「野口英世」が私の生活の中で生きている。それは2004（平成16）年に発行された千円札の中に、野口英世の肖像が印刷されているからだ。彼は間違いなく日本を代表する歴史上の偉人である。

福島県の磐梯山の麓の貧しい農家で生まれた彼は母親の愛を一杯受け、人並み外れる努力の末に済生学舎（現・日本医科大学）を終了する。その後アメリカのペンシルベニア大学医学部を経てロックフェラー医学研究所研究員に。黄熱病や梅毒などの細菌学の研究に従事した。ノーベル生理学・医学賞の候補にも挙がるものの、黄熱病研究中に自身も病を患いアフリカ・ガーナ国にて51歳で死去する。彼の人生において医学博士をはじめとする数えきれない程の栄典、学位等を受賞している。

これほどの彼の存在があるのも、素朴でいて偉大なる母がいなければ野口英世は無かったに違いない。2歳の時誤って囲炉裏の中に手を突っ込み大やけどとなった。母（シカ）はやけどへの慚愧の念を持ち続けての一生であったであろう。そのハンディーを母は学問で身を立てるように励まし応援した。この母の深い愛情があつての偉大なる彼の人生であった。

私の最も好きな歌に「母」という曲がある。



「♪～母よ あなたは なんと不思議な 豊富(ゆたか)な力を もっているのか  
もしも この世に あなたがいなければ  
還るべき大地を失い かれらは永遠(とわ)に 放浪(さすら)う

母よ わが母 風雪に耐え 悲しみの合掌(いのり)を 繰り返した 母よ  
あなたの願いが翼となって  
天空(おおぞら)に 舞いくる日まで  
達者にと 祈る

母よ あなたの 思想と聡明(かしこ)さで 春を願う  
地球の上に  
平安の楽符(しらべ)を 奏でてほしい その時  
あなたは 人間世紀の母として 生きる～♪」

野口英世博士と最も愛されたその母に謹んでこの歌を贈ります。

撮影 2014 年夏